



校長通信

令和3年度24号 令和4年2月17日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

厳しい寒さは残るものの、暦の上では春を迎えました。柔らかな日差しの中、満開の梅の花を見ると、春は確実に近づいていると実感する今日このごろです。

さて、新型コロナウイルスのオミクロン株ですが、ここ数日、和歌山県内での感染者が1日500人前後の高止まりで推移しています。本校においては、部活動を停止したり、感染不安のため、家庭学習をする生徒にオンラインで授業を配信したりと、できる範囲で対応しているところです。引き続き、ご理解・ご協力のほどお願いします。



《学校アンケートの結果》

昨年末、生徒・保護者・教職員にアンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。詳しい数値結果を裏面に掲載します。

生徒アンケートにおいて、17項目中、10項目で昨年度より肯定的回答率が高い結果となりました。特に、家庭学習が十分できていると回答した生徒は、64.9%と昨年度より8.6%高いです。面談、学年だより、校長通信等での家庭学習の啓発も良かったのかなと思っています。但し、保護者の方は、もっと家庭で学習してほしいと思っているようで、肯定的回答が、42.1%となっています。

「学校生活が充実している」「授業がわかりやすい」「相談できる友だち先生がいる」の項目で、90%以上が肯定的に回答していて、概ね生徒は充実した学校生活を送っているようです。

保護者アンケートでは、家庭でよく会話をするの項目以外、生徒のアンケートより肯定的回答が少ない結果となりました。ホームページや各種通信等で、今後更に学校の取組を発信し、理解を得るよう努める必要があると考えます。

教員のアンケートでは、授業の工夫・改善をしているの項目で、95.5%肯定的な回答をしています。生徒も93.7%が授業がわかりやすいという回答をしており、授業改善に向けた取組が進んでいると考えます。コロナ禍で、学び合いの学習や、ペア・グループワークを授業で導入しにくくなっていますが、学習の基礎基本はもとより、生徒の思考力・表現力・判断力を向上させる授業改善を今後、更に発展させていきたいと考えています。

今後、このアンケート結果をもとに、学校評価をし、来年度の学校運営に生かしていきます。

《肉離れ完治！》

校長通信前号・前前号でお話した、私の左ふくらはぎ肉離れですが、おかげさまで痛みも全くなり、朝の5kmランニングを本格的に再開することができました。生徒や教職員、保護者の方々の温かいお声かけに、本当に元気づけられました。ありがとうございました。オミクロン株の感染が拡大している中、剣道の稽古会は中止となっており、稽古は本格的にできていませんが、昨年末に購入した剣道打ち込み台に向かって、一人面打ちをしているところです。元気に身体が動かせるのは、本当にありがたいと実感しています。

※数字は、アンケートの「そう思う・どちらかと言えばそう思う」を合わせた割合(%)

		生徒	保護者	教員
(1)	学校目標を意識している	85.5	81.5	100.0
(2)	思いやりのある学級である(一人一人を大切にしている)	96.1	87.3	
(3)	学校生活が充実している	92.4	89.9	
(4)	命や人権を大切にする教育がおこなわれている	96.7	84.6	95.5
(5)	授業はわかりやすい(授業の工夫・改善をしている)	93.7	79.2	95.5
(6)	授業に真剣に取り組む	97	86	100.0
(7)	進んであいさつできる	91.3	82.5	77.3
(8)	学校のきまりを守る	98.5	94.7	90.9
(9)	教科以外の活動に積極的に参加	92.9	82.8	81.8
(10)	学校の美化・整理整頓を意識	89.5		
(11)	相談できる友だち先生がいる(生徒の相談にのっている)	93.9	79.3	100.0
(12)	交通ルール・安全を心がけている(安全教育)	98.8	95.1	95.5
(13)	家庭学習は十分できている	64.9	42.1	
(14)	家庭でよく会話をする	82.4	92.3	
(15)	学校の設備が整備されている	83.8	79.8	86.4
(16)	学校は情報を積極的に発信している		71.7	90.9
(17)	家庭と学校の連携がとれている	86.7	83.2	90.9